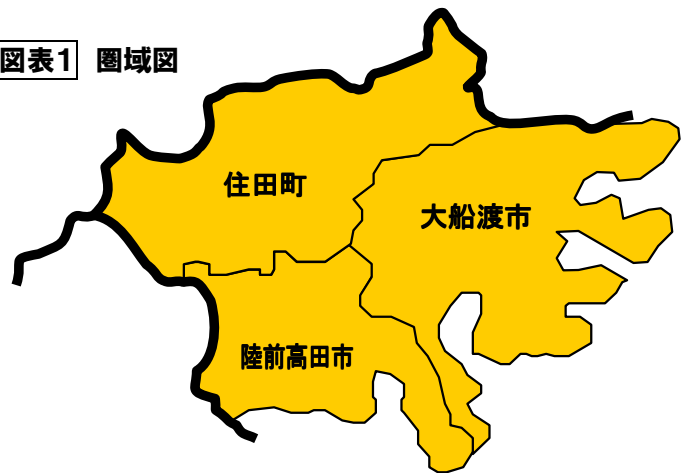


気仙・釜石・宮古保健医療圏の 現状と課題について

本資料は、県公表資料、岩手県公立病院改革推進指針（平成 21 年 1 月策定）、保健所への聞き取り結果等に基づき取りまとめたものであり、今後、各保健医療圏の医療・福祉提供体制の構築にあたっては、保健医療圏毎に、被災後の患者動向等の詳細な分析を行いながら、取組課題を抽出していく必要があります。

気仙保健医療圏

図表1 圏域図



1 圏域の状況

(1) 被害状況

圏域における死者・行方不明者の数は、2,403人、家屋の倒壊件数は6,970件となっている。

図表2 被害の状況(平成23年9月9日現在)

	死亡	行方不明者	計	家屋倒壊件数
大船渡市	338	114	452	3,629
陸前高田市	1,552	399	1,951	3,341
住田町	0	0	0	0
計	1,890	513	2,403	6,970

【出典】岩手県総務部総合防災室調べ

(2) 人口・世帯数

平成17年と平成22年の国勢調査を比較すると、圏域全体で4,661人、431世帯が減少している。

震災前後の住民基本台帳データを比較すると、圏域全体で4,019人、950世帯が減少している。市町村別にみると、大船渡市で1,288人、331世帯、陸前高田市で2,786人、664世帯が減少している一方で、住田町では55人、45世帯が増加している。

また、圏域全体での仮設住宅への入居済戸数は、3,928戸となっている。市町村別にみると、大船渡市で1,743戸、陸前高田市で2,092戸、住田町で93戸となっている。

図表3 人口・世帯数の推移

	平成22年		平成17年		増減数		増減率	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
大船渡市	40,737	14,819	43,331	15,138	▲2,594	▲319	▲6.0	▲2.1
陸前高田市	23,300	7,785	24,709	7,807	▲1,409	▲22	▲5.7	▲0.3
住田町	6,190	2,083	6,848	2,173	▲658	▲90	▲9.6	▲4.1
計	70,227	24,687	74,888	25,118	▲4,661	▲431	▲6.2	▲1.7

【出典】平成22年国勢調査、平成17年国勢調査

	震災後(H23)		震災前(H23)		増減数		増減率	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
大船渡市	39,481	14,398	40,769	14,729	▲1,288	▲331	▲3.2	▲2.2
陸前高田市	21,342	7,532	24,128	8,196	▲2,786	▲664	▲11.5	▲8.1
住田町	6,325	2,197	6,270	2,152	55	45	0.9	2.1
計	67,148	24,127	71,167	25,077	▲4,019	▲950	▲5.6	▲3.8

【出典】住民基本台帳

※1 震災前(H23):平成23年2月28日もしくは3月1日現在の人口、世帯数

※2 震災後(H23):平成23年8月31日もしくは9月1日現在の人口、世帯数

図表4 応急仮設住宅の入居状況(平成23年9月9日現在)

	完成戸数 A	入居決定戸数 B	入居決定率 (%) B/A	入居済戸数 C	完成戸数に 対する入居率 (%) C/A	入居決定戸数に 対する入居率 (%) C/B
大船渡市	1,811	1,743	96.2	1,743	96.2	100.0
陸前高田市	2,168	2,092	96.5	2,092	96.5	100.0
住田町	93	93	100.0	93	100.0	100.0
合計	4,072	3,928	96.5	3,928	96.5	100.0

【出典】岩手県復興局生活再建課調べ

(3) 医療提供施設の状況**ア 被災前**

気仙圏域には、圏域の中核病院である県立大船渡病院と、地域病院である県立高田病院があり、これらの公立病院が急性期一般医療を担い、精神医療は県立大船渡病院と民間の専門病院が担ってきた。療養病床は民間病院のみに設置されてきた。

4 疾病の高度・専門医療機能については、県立大船渡病院が、がんの「手術・放射線・化学療法の組み合わせによる集学的治療」、脳卒中の「急性期」、急性心筋梗塞の「急性期（PCI まで行う。）」などの全てについて医療機能を担い、4 疾病の日常的な医療機能については、県立高田病院が、脳卒中の「予防」、急性心筋梗塞の「予防」、糖尿病の「初期・安定期治療」の医療機能を担ってきた。

イ 被災後**【病院・診療所】**

気仙圏域内の病院及び診療所（40 施設）のうち 23 施設が被災し、そのうち元の施設で診療を再開している施設は 9 施設、仮設施設で再開しているのは 7 施設となっている。

なお、陸前高田市では、8 月 7 日から岩手県医師会が仮設施設による高田診療所を開設している。

未再開となっている 7 施設のうち、再開が見込まれるのは 1 施設で、その他は廃業が 4 施設、未定が 2 施設となっており、現時点で、85%の施設の再開が見込まれている。

また、圏域内の病床数 791 床のうち 88 床が使用できない状況になっており、被災前の約 89%の病床数となっている。

【歯科診療所】

気仙圏域内の歯科診療所（29 施設）のうち 22 施設が被災し、そのうち元の施設で再開している施設は 6 施設、仮設施設で再開しているのは 5 施設となっている。未再開となっている 11 施設のうち、再開が見込まれるのは 5 施設で、その他は他圏域への移転が 1 施設、廃業が 2 施設、未定が 3 施設となっており、現時点で、約 79%の施設再開が見込まれている。

【調剤薬局】

気仙圏域内の調剤薬局（30 施設）のうち 20 施設が被災し、そのうち元の施設で再開している施設は 5 施設、仮設施設で再開しているのは 7 施設となっている。未再開となっている 8 施設の今後は未定となっており、現時点で、約 73%の施設再開が見込まれている。

図表5 病院等の主な医療機能(被災前)

施設名称 ※●は公立病院	がん				脳卒中				急性心筋梗塞				糖尿病									
	予防	がん治療			在宅	予防	急性期	回復期	維持期	予防	急性期			回復期	維持期	初期・安定期治療	専門治療	急性合併症治療	慢性合併症			
		A	B	C							PCI	内科的治療	糖尿病網膜症						糖尿病腎症	糖尿病神経障害		
●岩手県立大船渡病院	○	○				○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●岩手県立高田病院	○			○		○				○		○			○							
医療法人希望会 希望ヶ丘病院																						
(診療所数)	8			1	5	19			3	19			1	13	13					1	1	

【出典】H20 医療機能調査(岩手県保健福祉部)

※がん治療A: ①手術療法②放射線療法③化学療法を全て実施し、これらの効果的組み合わせによる集学的治療を行っている。

B: ①手術療法及び②化学療法を実施

C: ①手術療法又は③化学療法を実施

図表6 医療提供施設の状況(平成23年9月1日現在)

	医療提供施設	既存数	被災施設	再開状況		未再開施設の今後の予定				病床数(被災前)						稼働病床数(被災後)	病床減数				
				自施設	仮設	再開	移転(圏域外)	廃業	未定	一般	療養	結核	感染	精神	合計						
大船渡市	県立病院	1	1	1								370		10	4	105	489	489			
	市立診療所	3	2	2																	
	民間診療所	21	10	4	3	1		1	1	38							38	38			
	歯科診療所	18	13	6	1	3	1	2													
	調剤薬局	20	11	5	3				3												
陸前高田市	県立病院	1	1		1							70					70			△ 70	
	民間病院	1										60			93	153	153				
	市立診療所	2	2	1	1					22						22	4		△ 18		
	民間診療所	7	7	1	2			3	1	19						19	19				
	調剤薬局	9	9		4	2			3												
住田町	県立診療所	1																			
	民間診療所	3																			
	歯科診療所	2																			
	調剤薬局	1																			
圏域全体	病院・診療所	40	23	9	7	1		4	2	519	60	10	4	198	791	703	△ 88				
	歯科診療所	29	22	6	5	5	1	2	3												
	調剤薬局	30	20	5	7				8												

【出典】岩手県保健福祉部医療推進課、健康国保課調べ

※ 病床数(被災前)は、休止病床(県立高田病院66床)を除く平成22年4月1日現在の数

(4) 患者受療行動の状況

ア 被災前(平成17年患者受療行動調査の概要)

入院患者の受療動向では、気仙圏域の自己完結割合は81.0%となっており、市町別に見ると、中核病院である県立大船渡病院が所在する大船渡市への患者移動が大きい。

陸前高田市における入院患者の自己完結割合は26.7%で、市外への患者の流出割合は73.3%となっている。

図表7 平成17年患者受療行動調査結果

	一般 病床数 A	患者数 (圏域・ 市町村) B	圏域(市町村)内利用の状況							
			医療圏内 利用者数 C	(割合) (C/F)	うち市町村 内利用者 D	(割合) (D/F)	他圏域か らの利用 E	(割合) (E/F)	入院 患者計 F=C+E	病床 利用率 (F/A)
気仙	495	500	405	94.8	—	—	22	5.2	427	86.3
大船渡市	370	273	325	93.9	205	59.2	21	6.1	346	93.5
陸前高田市	70	172	48	98.0	46	93.9	1	2.0	49	70.0
住田町	55	55	32	100.0	19	59.4	0	0.0	32	58.2

	流出の状況							
	圏域・市町村 外病院利用 G=B-(CorD)	流出 割合 G/B	第1位	第2位	第3位			
気仙	95	19.0	盛岡	56	釜石	18	胆江	12
大船渡市	68	24.9	盛岡市	39	住田町	11	釜石市	6
陸前高田市	126	73.3	大船渡市	102	盛岡市	14	住田 他	2
住田町	36	65.5	大船渡市	18	遠野市	7	釜石市	4

【出典】岩手県保健福祉部保健福祉企画室調べ

※1 病床数は、休止病床を除く(休止病床:高田病院 66床、H16~)

※2 患者数は、県内の病院に入院した患者の数であり、県外病院への入院は含んでいない。

※3 市町村内(受療調査単位)に一般病床を有する病院が公立病院のみのものについて、抜き出し集計したもの。

※4 市町村区分については、H17.10.1現在の合併市町村。

イ 被災後(入院・外来の状況)

平成23年8月の気仙圏域内の県立病院への入院患者数は、前年同月よりも1,818人、率にして15.7%の減少となっている。一方で、県立病院及び県立診療所への外来患者数は、前年同月よりも1,818人、率にして8.4%の増加となっている。

図表8 入院・外来状況調査結果

医療圏	病院等	区分	入 院							
			H22.8	(参考) H23.1	H23.7	H23.8	対前年同月比		対前月比	
			A	H23.1	B	C	差引 C-A	率 C/A*100-100	差引 C-B	率 C/B*100-100
気仙	大船渡	患者数	9,827	9,976	10,073	9,727	△ 100	△ 1.0	△ 346	△ 3.4
		1日平均	317	322	325	314	△ 3	△ 1.0	△ 11	△ 3.4
	高田	患者数	1,718	1,588	0	0	△ 1,718	△ 100.0	0	-
		1日平均	55	51	0	0	△ 55	△ 100.0	0	-
	住田	患者数								
		1日平均								
	計	患者数	11,545	11,564	10,073	9,727	△ 1,818	△ 15.7	△ 346	△ 3.4
		1日平均	372	373	325	314	△ 58	△ 15.7	△ 11	△ 3.4

医療圏	病院等	区分	外 来							
			H22.8	(参考) H23.1	H23.7	H23.8	対前年同月比		対前月比	
			D	H23.1	E	F	差引 F-D	率 F/D*100-100	差引 F-E	率 F/E*100-100
気仙	大船渡	患者数	15,659	14,715	14,767	16,824	1,165	7.4	2,057	13.9
		1日平均	712	774	738	731	19	2.7	△ 7	△ 0.9
	高田	患者数	4,717	4,251	3,348	5,087	370	7.8	1,739	
		1日平均	214	224	167	221	7	3.3	54	
	住田	患者数	1,210	1,099	1,481	1,493	283	23.4	12	0.8
		1日平均	55	58	74	65	10	18.2	△ 9	△ 12.2
	計	患者数	21,586	20,065	19,596	23,404	1,818	8.4	3,808	19.4
		1日平均	981	1,056	979	1,017	36	3.7	38	3.9

【出典】岩手県医療局調べ

※ 「事業実績表(電算速報)」(平成23年8月分は速々報)による。

(5) 高齢者福祉施設の状況

ア 被災前（介護老人福祉施設の入所待機者数）

平成22年度当初の気仙圏域内の特別養護老人ホームの定員数は378人で、平成19年度に比して29人増員されているが、同時に(平成21年度末時点)入所待機者数が261人、そのうち早期入所が必要な方が73人おり、その解消に向けて施設整備が予定されている。

また、平成21年度の介護サービスの県平均給付額を100%としてみた場合に、圏域全体で、訪問看護や訪問リハビリテーションなどの訪問(医療系)サービスの給付は30.4%、通所介護や通所リハビリテーションなどの通所系サービスの給付は94.3%となっている。

図表9 介護老人福祉施設における定員数の推移

【気仙圏域】	定員数の推移(4/1)					H23	
	H19	H20	H21	H22	H23	整備 予定 数	年度末
特別養護老人ホーム(地域密着型含む)	349	349	378	378	378	58	436
老人保健施設	331	331	331	331	331		331
認知症対応型グループホーム	63	63	81	90	99		99
計	743	743	790	799	808	58	866

特養待機者数(H22.3)		
うち在宅待 機者数	うち早期入 所必要な方	
261	124	73

【出典】岩手県保健福祉部長寿社会課調べ

※1 定員数は、各年の4月1日現在の数

※2 地域密着型介護老人福祉施設は、小規模多機能(定員数は利用登録定員数)及び認知症対応型GH

※3 待機者数(H23.3)には、震災による要介護・要支援認定者数の減少は考慮していない

図表10 平成21年度居宅系介護サービスの給付状況(県平均額との比較)

	訪問 (福祉系)	訪問 (医療系)	通所系	短期入所
大船渡市	92.5%	34.6%	92.0%	97.8%
陸前高田市	116.9%	27.9%	88.3%	123.3%
住田町	190.5%	17.6%	126.3%	102.8%
圏域全体	111.5%	30.4%	94.3%	107.3%

【出典】岩手県保健福祉部長寿社会課調べ

※ 表中の割合は、県平均額を100%とした場合のサービスの給付割合を示すもの

イ 被災後（高齢者福祉施設の被害状況）

【入所・居住系施設】

気仙圏域内の入所・居住系施設(23施設)のうち9施設が被災し、そのうち元の施設で事業を再開している施設は6施設、仮設施設で再開しているのは1施設となっている。未再開となっている2施設の今後は未定となっており、現時点では、約91%の施設の再開が見込まれ、この場合の定員減数は83人となっている。

【居宅系サービス事業所】

気仙圏域内の居宅系サービス事業所(100施設)のうち51施設が被災し、そのうち元の施設で事業を再開している施設は47施設となっている。未再開となっている4施設のうち、廃業が1施設、未定が3施設となっており、現時点では、96%の事業所の再開が見込まれている。

図表11 高齢者福祉施設の被害状況

	施設種別	既存施設数	被災施設数	再開状況		未再開施設の今後の予定			定員数		定員減数
				自施設	仮設	再開	移転(圏域外)	廃業	未定	被災前	
大船渡市	介護老人福祉施設(特養)	4	2	1				1	236	178	△ 58
	介護老人保健施設(老健)	1	1	1					152	152	
	地域密着型介護老人福祉施設	8	2		1			1	120	95	△ 25
	その他入所・居住系施設	2	1	1					100	100	
	居宅系サービス事業所	57	24	23				1			
陸前高田市	介護老人福祉施設(特養)	1	1	1					90	90	
	介護老人保健施設(老健)	1	1	1					179	179	
	地域密着型介護老人福祉施設	4	1	1					86	86	
	その他入所・居住系施設										
	居宅系サービス事業所	33	27	24				3			
住田町	介護老人福祉施設(特養)	1							52	52	
	介護老人保健施設(老健)										
	地域密着型介護老人福祉施設	1							9	9	
	その他入所・居住系施設										
	居宅系サービス事業所	10									
圏域全体	介護老人福祉施設(特養)	6	3	2				1	378	320	△ 58
	介護老人保健施設(老健)	2	2	2					331	331	
	地域密着型介護老人福祉施設	13	3	1	1			1	215	190	△ 25
	その他入所・居住系施設	2	1	1					100	100	
	居宅系サービス事業所	100	51	47				1	3		

【出典】岩手県保健福祉部長寿社会課調べ

※1 介護老人福祉施設(特養)には地域密着型特養を含む

※2 地域密着型介護老人福祉施設は、小規模多機能(定員数は利用登録定員数)及び認知症対応型GH

(6) 医療と介護の連携状況

ア 被災前

気仙圏域では、平成21年3月に策定した『気仙保健医療圏医療連携推進プラン』に基づいて、これまで4疾病(がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病)と6事業(救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児救急医療・うつ対策)について、医療機関の機能分化と連携を促進し、患者の視点に立った地域医療連携体制構築を目指してきたが、脳卒中にかかる地域連携クリティカルパス(地域包括ケアネットワーク形成支援システム)の運用機関が増えず、他の疾病についてのクリティカルパス導入の検討も進んでいなかったことから、システム利活用や他の疾病についての連携等の関係者間による検討を進めることとしていた。

また、医療と介護の連携、医療・保健・福祉関係者の連携、民間事業者、NPO法人、住民参加によるサービスの提供などを推進するための「地域ケア体制」の構築を目指し、在宅の高齢者等の医療ニーズに対応した訪問看護、訪問リハビリテーションなどのサービス提供や、24時間体制で往診や訪問看護を行う「在宅療養支援診療所」の設置拡大などによる在宅医療体制の整備推進を図ることとしていたが、患者の退院手続き等において、病院と市町、一部介護事業者との連携はあるものの、福祉関係者間の連携が進んでおらず、在宅療養支援診療所の設置も進んでいない。

イ 被災後

県立高田病院の全壊とともに、多くの診療所が全壊、半壊などで被災し、医療機関の機能分化と連携の体制が崩壊しており、被災前に予定していた連携推進に係る検討は中断状態となっている。

2 医療・福祉に関する課題等

(1) 医療

- ア 県立大船渡病院が津波による被害がなかったことから、圏域内の4疾病の高度・専門医療機能は維持されているものの、県立高田病院の病床が失われてしまったことにより、県立大船渡病院における転院調整が困難となり、県立大船渡病院の負担が増大していることから、県立大船渡病院への診療応援等を継続していく必要がある。
- イ 陸前高田市の入院患者は、域外の病院利用が多く県立高田病院の病床利用率が低い状況にあったことや大船渡病院の負担が増大している状況等を踏まえ、県立高田病院が担うべき機能や県立大船渡病院との機能調整も含めて病床整備について検討する必要がある。
- ウ 県立高田病院仮設診療所の外来患者数が増加しており、廃業した民間診療所（4施設）の補完機能を仮設診療所（県立、医師会立）が担っている状況にあることから、圏域内における在宅医療連携のあり方も含めたプライマリケア体制のあり方について、十分に検討する必要がある。
- エ 圏域全体で、今後の予定が未定の民間の医療提供施設が13施設となっていることから、医療提供施設の廃業を防ぎ「かかりつけ医・歯科医・薬局」体制を再建するためには、市町村の土地利用計画が決定するまでの間における支援ニーズ等を把握し、仮施設段階から本格再開に向けた更なる支援策を打ち出す必要がある。

(2) 福祉

- ア 超過定員で被災者を受け入れている施設があるほか、震災により高齢者福祉施設（入所施設）の定員が83人減となることから、定員超過及び入所待機者解消に向け、地域の実情※に基づいた施設整備を推進していく必要がある。
- ※ 定員減の要因は、津波により大船渡市の大規模入所施設と小規模入所施設が被災したことによるもので、陸前高田市の入所施設定員数に変化はない状況にある。
- イ 在宅での介護が可能となるよう小規模多機能サービス拠点の整備促進などによるサービスの充実や、居宅介護支援事業所等によるサービス調整体制を強化する必要がある。

(3) 医療と介護の連携

被災以前から医療関係者と福祉関係者等の情報共有等の連携があまり進んでいなかったことから、今後の圏域の医療再生を図るための検討の場において、今後の連携（病病、病診、病福祉）のあり方に加え、「地域包括ケアネットワーク形成支援システム」の運用事例等の情報共有やシステム運用に向けた課題解決のための検討を進めていく必要がある。

参考 被災市における復興計画策定状況（平成23年9月1日現在）

1 大船渡市

復興計画の構想・基本方針等策定状況

- ・大船渡市復興基本方針（4/20）
- ・大船渡市復興計画（9月末予定）

■大船渡市復興計画骨子（平成23年7月8日策定）

1 市民生活の復興

(2) 市民が安心して暮らせるよう保健、医療、介護、福祉など生活に密接に関係する各種サービスの充実を図ります。

ア 被災者の心と体のケア対策を実施します。

イ 被災した保健・医療・介護・福祉施設を早期に復旧します。

ウ 地域医療を充実します。

エ 地域全体で高齢者や障がい者、子どもたちを支え合うやさしいまちづくりに取り組みます。

2 陸前高田市

復興計画の構想・基本方針等策定状況

- ・陸前高田市震災復興計画策定方針（5/16）
- ・陸前高田市復興計画（11月予定）

■陸前高田市震災復興計画（素案）（平成23年8月9日策定）

2. 快適で魅力のあるまち

（重点目標）

- 学校、病院、図書館、文化施設等の公共施設は、災害時における避難、機能の保全を考慮し、高台への移転を計画し、集積を図ります。

3. 市民の暮らしが安定したまち

（重点目標）

- 高台に集積する公共施設（県立高校、県立病院、図書館等）は、緑に囲まれた「健康と教育の森ゾーン」として再生整備するとともに、公共施設周辺は、自然環境に配慮した活用を図ります。
- 市民生活や地域に密着した民間医療施設、郵便局、金融機関、商業店舗などが配置されるよう再建を支援します。

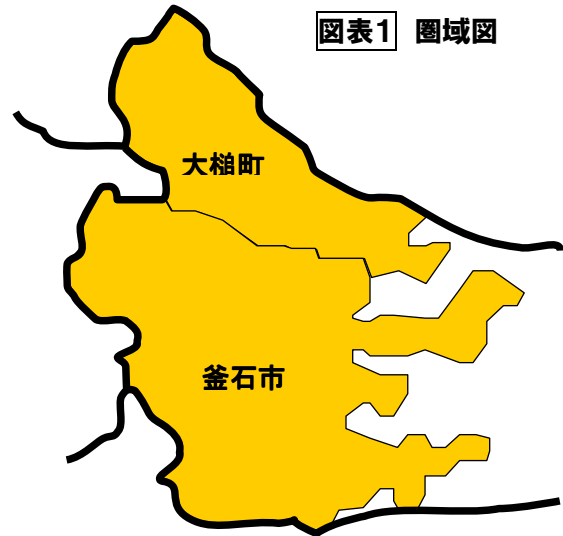
釜石保健医療圏

図表1 圏域図

1 圏域の被災状況

(1) 被害状況

圏域における死者・行方不明者の数は、2,488人、家屋の倒壊件数は7,304件となっている。



図表2 被害の状況(平成23年9月9日現在)

	死 亡	行 方 不 明	計	家 屋 倒 壊 数
釜 石 市	883	208	1,091	3,627
大 槌 町	801	596	1,397	3,677
計	1,684	804	2,488	7,304

【出典】岩手県総務部総合防災室調べ

(2) 人口・世帯数

平成17年と平成22年の国勢調査結果を比較すると、圏域全体で4,653人、1,035世帯が減少している。

震災前後の住民基本台帳データを比較すると、圏域全体で4,157人、1,314世帯が減少している。市町村別にみると、釜石市で1,966人、624世帯が減少し、大槌町では2,191人、690世帯が減少している。

また、圏域全体での仮設住宅への入居済戸数は、4,839戸となっている。市町村別にみると、釜石市で2,776戸、大槌町で2,063戸となっている。

図表3 人口・世帯数

	平成22年		平成17年		増減数		増減率	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
釜 石 市	39,574	16,094	42,987	16,994	▲ 3,413	▲ 900	▲ 7.9	▲ 5.3
大 槌 町	15,276	5,689	16,516	5,824	▲ 1,240	▲ 135	▲ 7.5	▲ 2.3
計	54,850	21,783	59,503	22,818	▲ 4,653	▲ 1,035	▲ 7.8	▲ 4.5

【出典】平成22年国勢調査、平成17年国勢調査

	震災後(H23)		震災前(H23)		増減数		増減率	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
釜 石 市	38,030	16,937	39,996	17,561	▲ 1,966	▲ 624	▲ 4.9	▲ 3.6
大 槌 町	13,803	5,658	15,994	6,348	▲ 2,191	▲ 690	▲ 13.7	▲ 10.9
計	51,833	22,595	55,990	23,909	▲ 4,157	▲ 1,314	▲ 7.4	▲ 5.5

【出典】住民基本台帳

※1 震災前(H23):平成23年2月28日もしくは3月1日現在の人口、世帯数

※2 震災後(H23):平成23年8月31日もしくは9月1日現在の人口、世帯数 (大槌町のみ7/31現在)

図表4 応急仮設住宅の入居状況(平成23年9月9日現在)

	完成戸数 A	入居決定戸数 B	入居決定率 (%) B/A	入居済戸数 C	完成戸数に 対する入居率 (%) C/A	入居決定戸数に 対する入居率 (%) C/B
釜石市	3,164	2,776	87.7	2,776	87.7	100.0
大槌町	2,146	2,063	96.1	2,063	96.1	100.0
合計	5,310	4,839	91.1	4,839	91.1	100.0

【出典】岩手県復興局生活再建課調べ

(3) 医療提供施設の状況**ア 被災前**

釜石圏域には、圏域の中核病院である県立釜石病院と、地域病院である県立大槌病院があり、これらの公立病院がほぼ急性期一般医療を担っており、長期療養、精神医療等については、それぞれ民間の専門病院等が担ってきた。

4疾病の高度・専門医療機能については、県立釜石病院が、脳卒中の「急性期」の医療機能を担ってきたが、がんの治療の「放射線療法」や急性心筋梗塞の「PCI」は行っていない状況にある。

県立大槌病院では、脳卒中の「予防」及び「維持期」、急性心筋梗塞の「予防」及び「維持期」、糖尿病の「初期・安定期治療」の4疾病の日常的な医療機能のほかに、がんの手術療法、糖尿病の専門的治療などの医療機能も担ってきた。

また、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病の日常的な医療機能については、民間病院のせいとつ記念病院や釜石のぞみ病院においても担われている。

イ 被災後**【病院・診療所】**

釜石圏域内の病院・診療所(26施設)のうち20施設が被災し、そのうち元の施設で診療を再開している施設は7施設、仮設施設で再開しているのは8施設となっている。

未再開となっている5施設のうち、再開が見込まれるのは1施設で、その他は廃業が1施設、未定が3施設となっており、現時点では、約85%の施設の再開が見込まれている。

また、圏域内の病床数1,019床のうち131床が使用できない状況になっており、被災前の約87%の病床数となっている。

【歯科診療所】

釜石圏域内の歯科診療所(24施設)のうち17施設が被災し、そのうち元の施設で再開している施設は2施設、仮設施設で再開しているのは7施設となっている。未再開となっている8施設のうち、再開が見込まれるのは4施設で、その他は廃業が1施設、未定が3施設となっており、現時点では、約83%の施設再開が見込まれている。

【調剤薬局】

釜石圏域内の調剤薬局(22施設)のうち13施設が被災し、そのうち仮設施設で再開しているのは8施設となっている。未再開となっている5施設の今後は未定となっており、現時点では、約77%の施設再開が見込まれている。

図表5 病院等の主な医療機能(被災前)

施設名称 ※●は公立病院	がん				脳卒中				急性心筋梗塞				糖尿病						
	予防	がん治療			在宅	予防	急性期	回復期	維持期	予防	急性期			初期・安定期治療	専門治療	急性合併症治療	慢性合併症		
		A	B	C							PCI	内科的治療	回復期				維持期	糖尿病網膜症	糖尿病腎症
●岩手県立釜石病院	○		○			○	○	○		○		○	○	○	○			○	
●岩手県立大槌病院			○			○			○	○				○	○	○	○		○
医療法人仁医会(財団) 釜石厚生病院																			
医療法人楽山会 せいてつ記念病院			○		○		○	○	○		○	○	○				○	○	
釜石のぞみ病院					○		○	○	○			○	○						
独立行政法人 国立病院機構釜石病院					○									○					
(診療所数)					4	8			1	8				4	11			1	

【出典】H20 医療機能調査(岩手県保健福祉部)

※がん治療A:①手術療法②放射線療法③化学療法を全て実施し、これらの効果的組み合わせによる集学的治療を行っている。

B:①手術療法及び②化学療法を実施

C:①手術療法又は③化学療法を実施

図表6 医療提供施設の状況(平成23年9月1日現在)

	医療提供施設	既存施設	被災施設	再開状況		未再開施設の今後の予定				病床数(被災前)					稼働病床数(被災後)	病床減数		
				自施設	仮設	再開	移転(圏域外)	廃業	未定	一般	療養	結核	感染	精神			合計	
釜石市	国立病院	1	1	1							180					180	180	
	県立病院	1	1	1							272					272	231	△ 41
	民間病院	3	3	3							171	102			204	477	477	
	民間診療所	13	7	2	3				1	1	25					25		△ 25
	歯科診療所	18	11	2	3	4			1	1								
	調剤薬局	16	7		3						4							
大槌町	県立病院	1	1		1						58			2		60		△ 60
	民間診療所	7	7		4	1				2	5				5		△ 5	
	歯科診療所	6	6		4					2								
	調剤薬局	6	6		5					1								
圏域全体	病院・診療所	26	20	7	8	1		1	3	711	102		2	204	1019	888	△ 131	
	歯科診療所	24	17	2	7	4		1	3									
	調剤薬局	22	13		8				5									

【出典】岩手県保健福祉部医療推進課、健康国保課調べ

※ 病床数(被災前)は、休止病床(県立大槌病院 61床)を除く平成22年4月1日現在の数

(4) 患者受療行動の状況

ア 被災前(平成17年患者受療行動調査の概要)

入院患者の受療動向では、釜石圏域の自己完結割合は77.2%であり、盛岡圏域への患者流出が最も多くなっているほか、中核病院である県立釜石病院が所在する釜石市への患者移動も多くなっている。

なお、現在の釜石圏域(釜石市、大槌町)でみた場合の自己完結割合は、86.6%となっている。

図表7 平成17年患者受療行動調査結果

	一般 病床数 A	患者数 (圏域・ 市町村) B	圏域(市町村)内利用の状況							入院 患者計 F=C+E	病床 利用率 (F/A)
			医療圏内 利用者数 C	(割合) (C/F)	うち市町村 内利用者 D	(割合) (D/F)	他圏域か らの利用 E	(割合) (E/F)			
釜石	1,109	973	751	88.8	—	—	95	11.2	846	76.3	
釜石市	791	516	508	86.2	424	72.0	81	13.8	589	74.5	
遠野市	199	231	144	91.7	133	84.7	13	8.3	157	78.9	
大槌町 (旧宮守村)	119	185	99	99.0	92	92.0	1	1.0	100	84.0	

	流出の状況							
	圏域・市町村 外病院利用 G=B-(C+D)	流出 割合 G/B	第1位	第2位	第3位			
釜石	222	22.8	盛岡	158	中部	38	宮古	11
釜石市	92	17.8	盛岡市	60	大槌町	7	雫石 他	5
遠野市	98	42.4	盛岡市	67	釜石市	17	水沢市	4
大槌町 (旧宮守村)	93	50.3	釜石市	66	盛岡市	14	宮古市	9
	41	100.0	花巻市	13	東和町	13	遠野市	8

【出典】岩手県保健福祉部保健福祉企画室調べ

※1 患者数は、県内の病院に入院した患者の数であり、県外病院への入院は含んでいない。

※2 市町村内(受療調査単位)に一般病床を有する病院が公立病院のみのものについて、抜き出し集計したもの。

※3 市町村区分については、H17.10.1 現在の合併市町村。それ以降に合併した市町村についてはカッコ書き()で表示

イ 被災後(入院・外来の状況)

平成23年8月の釜石圏域内の県立病院への入院患者数は、前年同月よりも4,863人、率にして64.5%の減少となっている。また、県立病院への外来患者数は、前年同月よりも867人、率にして6.3%の減少となっている。

図表8 入院・外来状況調査結果

医療圏	病院等	区分	入 院							
			H22.8	(参考) H23.1	H23.7	H23.8	対前年同月比		対前月比	
			A		B	C	差引 C-A	率 C/A*100-100	差引 C-B	率 C/B*100-100
釜石	釜石	患者数	5,854	7,111	1,826	2,682	△ 3,172	△ 54.2	856	46.9
		1日平均	189	229	59	87	△ 102	△ 54.2	28	46.9
	大槌	患者数	1,691	1,753	0	0	△ 1,691	△ 100.0	0	-
		1日平均	55	57	0	0	△ 55	△ 100.0	0	-
計	患者数	7,545	8,864	1,826	2,682	△ 4,863	△ 64.5	856	46.9	
	1日平均	243	286	59	87	△ 157	△ 64.5	28	46.9	

医療圏	病院等	区分	外 来							
			H22.8	(参考) H23.1	H23.7	H23.8	対前年同月比		対前月比	
			D		E	F	差引 F-D	率 F/D*100-100	差引 F-E	率 F/E*100-100
釜石	釜石	患者数	10,462	10,131	10,761	10,697	235	2.2	△ 64	△ 0.6
		1日平均	476	533	538	465	△ 11	△ 2.3	△ 73	△ 13.6
	大槌	患者数	3,246	3,047	1,988	2,144	△ 1,102	△ 33.9	156	7.8
		1日平均	148	160	99	93	△ 55	△ 37.2	△ 6	△ 6.1
計	患者数	13,708	13,178	12,749	12,841	△ 867	△ 6.3	92	0.7	
	1日平均	624	694	637	558	△ 66	△ 10.6	△ 79	△ 12.4	

【出典】岩手県医療局調べ

※ 「事業実績表(電算速報)」(平成23年8月分は速々報)による。

(5) 高齢者福祉施設の状況

ア 被災前（介護老人福祉施設の入所待機者数）

平成22年度当初の釜石圏域内の特別養護老人ホームの定員数は311人で、平成19年度に比して11人増員されているが、同時に(平成21年度末時点)入所待機者数が323人、そのうち早期入所が必要な方が65人おり、その解消に向けて施設整備が予定されている(平成23年度の施設整備予定地は浸水地域のため、現在整備保留中)。

また、平成21年度の介護サービスの県平均給付額を100%としてみた場合に、圏域全体で、通所介護や通所リハビリテーションなどの通所系サービスの給付は59.8%となっている。

図表9 介護老人福祉施設における定員数の推移

【釜石圏域】	定員数の推移(4/1)					H23		待機者数(H22.3)		
	H19	H20	H21	H22	H23	整備 予定 数	年度末	323	うち在宅待 機者数	うち早期入 所必要な方
特別養護老人ホーム(地域密着型含む)	300	300	300	311	331	56	387			108
老人保健施設	272	296	288	288	288		288			
認知症対応型グループホーム	36	54	54	54	72		72			
計	608	650	642	653	691	56	747			

【出典】岩手県保健福祉部長寿社会課調べ

※1 定員数は、各年の4月1日現在の数

※2 地域密着型介護老人福祉施設は、小規模多機能(定員数は利用登録定員数)及び認知症対応型GH

※3 待機者数(H22.3)には、震災による要介護・要支援認定者数の減少は考慮していない

図表10 平成21年度居宅系介護サービスの給付状況(県平均額との比較)

	訪問 (福祉系)	訪問 (医療系)	通所系	短期入所
釜石市	169.1%	126.3%	59.6%	103.0%
大槌町	111.0%	80.3%	60.2%	124.0%
圏域全体	153.5%	114.0%	59.8%	108.6%

【出典】岩手県保健福祉部長寿社会課調べ

※ 表中の割合は、県平均額を100%とした場合のサービスの給付割合を示すもの

イ 被災後（高齢者福祉施設の被害状況）

【入所・居住系施設】

釜石圏域内の入所・居住系施設(18施設)のうち11施設が被災し、そのうち元の施設で事業を再開している施設は9施設となっている。未再開となっている2施設の今後は未定となっており、現時点では、約89%の施設の再開が見込まれ、この場合の定員減数は75人となっている。

【居宅系サービス事業所】

釜石圏域内の居宅系サービス事業所(96施設)のうち30施設が被災し、そのうち元の施設で事業を再開している施設は25施設となっている。未再開となっている4施設のうち、廃業が1施設、未定が4施設となっており、現時点では、約95%の事業所の再開が見込まれている。

図表11 高齢者福祉施設の被害状況

	施設種別	既存施設数	被災施設数	再開状況		未再開施設の今後の予定				定員数		定員減数
				自施設	仮設	再開	移転(圏域外)	廃業	未定	被災前	被災後	
釜石市	介護老人福祉施設(特養)	3	3	3						221	221	
	介護老人保健施設(老健)	2	2	2						192	192	
	地域密着型介護老人福祉施設	7	2	2						104	104	
	その他入所・居住系施設	1	1						1	50		△ 50
	居宅系サービス事業所	73	22	19				1	2			
大槌町	介護老人福祉施設(特養)	2	2	2						110	110	
	介護老人保健施設(老健)	1								96	96	
	地域密着型介護老人福祉施設	2	1						1	43	18	△ 25
	その他入所・居住系施設											
	居宅系サービス事業所	23	8	6					2			
圏域全体	介護老人福祉施設(特養)	5	5	5						331	331	
	介護老人保健施設(老健)	3	2	2						288	288	
	地域密着型介護老人福祉施設	9	3	2					1	147	122	△ 25
	その他入所・居住系施設	1	1						1	50		△ 50
	居宅系サービス事業所	96	30	25				1	4			

【出典】岩手県保健福祉部長寿社会課調べ

※1 介護老人福祉施設(特養)には地域密着型特養を含む

※2 地域密着型介護老人福祉施設は、小規模多機能(定員数は利用登録定員数)及び認知症対応型GH

(6) 医療と介護の連携状況

ア 被災前

釜石圏域では、平成19年に(社)釜石医師会主催により医療・介護関係機関・団体及び行政を交えた「釜石・大槌地域在宅医療連携体制検討会」を組織し、在宅療養の推進に向けた医療と介護の連携体制の構築に取り組んできた。

検討会では地域の医療機関の役割分担を明確にし、医療・福祉・介護間のスムーズな連携を作り上げることを目的として、各病院長はじめ勤務医、開業医、ケアマネジャー、保健所、市、医療機関や介護関連施設の連携実務担当者等の多彩な職種の人々が一堂に会し、それぞれが地域の中での自分たちの立場から現状や今後の課題などを報告し合うこと等により、関係者間の相互理解が進んできた。

また、これを基盤として、地域医療再生計画を推進する「釜石・大槌地域医療再生計画推進委員会」での検討を進め、保健・医療・介護関係者の協力体制の充実強化に取り組んでいる。

イ 被災後

被災後もこれまでの取組は継続しており、今後は、研修会等により、多くの保健・医療・介護関係者等の医療連携に関する理解を深め、それぞれが担っている職務内容の理解と共有を図るとともに、これまでの連携を更に促進するために診療情報等の共有を図るための情報ネットワークの整備に取り組む予定となっている。

2 医療・福祉に関する課題等

(1) 医療

ア 中核病院である県立釜石病院において、施設の一部が損傷する被害により入院患者数が減少していたが、耐震補強工事完了により病床数が約 85%回復し、4 疾病の高度・専門医療機能も回復していることや、県立大槌病院の病床が失われてしまったことにより、今後、県立釜石病院への入院患者が増加し、県立釜石病院の負担増大が予想されることから、県立釜石病院への診療応援等を継続していく必要がある。

イ 県立大槌病院では、日常的な医療機能のほかに、がんの手術療法や糖尿病の専門的治療などの医療機能も担い、病床利用率は比較的高い状況にあったものの、県立釜石病院と比較的接近していることなども考慮し、県立釜石病院との機能調整も含めて病床整備について検討する必要がある。

ウ 県立大槌病院仮設診療所の外来患者数が減少している一方で、県立釜石病院の外来患者数は前年とほぼ同水準を維持していることから、大槌町内の患者の町外医療機関への移動状況を詳細に把握し、大槌町内の在宅医療連携のあり方も含めたプライマリケア体制の早期回復について検討する必要がある。

エ 圏域全体で、今後の予定が未定の民間の医療提供施設が 11 施設となっていることから、医療提供施設の廃業を防ぎ「かかりつけ医・歯科医・薬局」体制を再建するためには、市町村の土地利用計画が決定するまでの間における支援ニーズ等を把握し、仮施設段階から本格再開に向けた更なる支援策を打ち出す必要がある。

(2) 福祉

ア 超過定員で被災者を受け入れている施設があるほか、震災により高齢者福祉施設（入所施設）の定員が 75 人減となることから、定員超過及び入所待機者解消に向け、地域の実情※に基づいた施設整備を推進していく必要がある。

※ 定員減の要因は、津波により釜石市と大槌町の入所施設が被災したことによるもので、郊外に位置する大規模施設の定員数には変化はない状況にある。

イ 在宅での介護が可能となるよう小規模多機能サービス拠点の整備促進などによるサービスの充実や、居宅介護支援事業所等によるサービス調整体制を強化する必要がある。

(3) 医療と介護の連携

医療と介護の連携を更に促進するための「情報ネットワーク」の被災を踏まえての効果的な構築について、検討を進めていく必要がある。

参考 被災市町における復興計画策定状況（平成23年9月1日現在）

1 釜石市

復興計画の構想・基本方針等策定状況

- ・釜石市復興まちづくり基本計画 スクラムかまいし復興プラン骨子（7/11）
- ・釜石市復興まちづくり基本計画（9月末予定）

■釜石市復興まちづくり基本計画 復興プラン骨子（平成23年7月11日策定）

1 復興ビジョン

1-2 基本方針

(2) この地で生き続けるための生活基盤の再建

この地で生き続けるために欠かせない生活基盤を早急に再建するため、災害で失われた住宅や商店、医療・福祉施設、生活関連公共施設、地域コミュニティなどの復旧・復興を推進します。

2 新たな光づくりへの挑戦

基本目標2: 絆と支えあいを大切にするまちづくり

☆医療福祉介護機能の向上

2 大槌町

復興計画の構想・基本方針等策定状況

- ・大槌町震災復興基本方針（6/9）
- ・大槌町震災復興構想（9月予定）
- ・大槌町震災復興計画（12月予定）

■大槌町震災復興基本方針（平成23年6月9日策定）

2 基本方針を支える四つの柱

(2) 被災した町民生活の再建

③町民が安心して暮らせるよう、生活に関連する保健や医療、介護、福祉、環境など、各種サービスの再構築と再生を目指します。

図表1 圏域図

宮古保健医療圏

1 圏域の被災状況

(1) 被害状況

圏域における死者・行方不明者の数は、1,403人、家屋の倒壊件数は8,326件となっている。



図表2 被害の状況(平成23年9月9日現在)

	死	亡	行	不	明	方	者	計	家屋倒壊数
宮古市	420		122					542	4,675
山田町	601		222					823	3,184
岩泉町	7		0					7	197
田野畑村	14		17					31	270
計	1,042		361					1,403	8,326

【出典】岩手県総務部総合防災室調べ

(2) 人口・世帯数

平成17年と平成22年の国勢調査結果を比較すると、圏域全体で7,191人、916世帯が減少している。

震災前後の住民基本台帳データと比較すると、圏域全体で2,917人、670世帯が減少している。市町村別にみると、宮古市で1,219人、264世帯が減少、山田町で1,518人、389世帯が減少、岩泉町で101人、5世帯が減少、田野畑村で79人、12世帯が減少している。

また、圏域全体での仮設住宅への入居済戸数は、2,178戸となっている。市町村別にみると、宮古市で1,680戸、山田町で1,879戸、岩泉町で123戸、田野畑村で176戸となっている。

図表3 人口・世帯数

	平成22年		平成17年		増減数		増減率	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
宮古市	59,430	22,509	63,588	23,077	▲ 4,158	▲ 568	▲ 6.5	▲ 2.5
山田町	18,617	6,605	20,142	6,699	▲ 1,525	▲ 94	▲ 7.6	▲ 1.4
岩泉町	10,804	4,357	11,914	4,555	▲ 1,110	▲ 198	▲ 9.3	▲ 4.3
田野畑村	3,843	1,309	4,241	1,365	▲ 398	▲ 56	▲ 9.4	▲ 4.1
計	92,694	34,780	99,885	35,696	▲ 7,191	▲ 916	▲ 7.2	▲ 2.6

【出典】平成22年国勢調査、平成17年国勢調査

	震災後(H23)		震災前(H23)		増減数		増減率	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
宮古市	58,905	24,068	60,124	24,332	▲ 1,219	▲ 264	▲ 2.0	▲ 1.1
山田町	17,752	6,793	19,270	7,182	▲ 1,518	▲ 389	▲ 7.9	▲ 5.4
岩泉町	11,058	4,705	11,159	4,710	▲ 101	▲ 5	▲ 0.9	▲ 0.1
田野畑村	3,886	1,440	3,965	1,452	▲ 79	▲ 12	▲ 2.0	▲ 0.8
計	91,601	37,006	94,518	37,676	▲ 2,917	▲ 670	▲ 3.1	▲ 1.8

【出典】住民基本台帳

※1 震災前(H23)：平成23年2月28日もしくは3月1日現在の人口、世帯数

※2 震災後(H23)：平成23年8月31日もしくは9月1日現在の人口、世帯数

図表4 応急仮設住宅の入居状況(平成23年9月9日現在)

	完成戸数	入居決定戸数	入居決定率 (%)	入居済戸数	完成戸数に 対する入居率 (%)	入居決定戸数に 対する入居率 (%)
	A	B	B/A	C	C/A	C/B
宮古市	2,010	1,680	83.6	1,680	83.6	100.0
山田町	1,990	1,879	94.4	1,879	94.4	100.0
岩泉町	143	123	86.0	123	86.0	100.0
田野畑村	186	177	95.2	176	94.6	99.4
合計	2,319	2,179	94.0	2,178	93.9	99.9

【出典】岩手県復興局生活再建課調べ

(3) 医療提供施設の状況

ア 被災前

宮古圏域には、圏域の中核病院である県立宮古病院と、県立山田病院があり、これらの公立病院がほぼ急性期一般医療を担い、長期療養、精神医療については、それぞれ民間の専門病院が担ってきた。

4疾病の高度・専門医療機能については、県立宮古病院が、がんの「手術・放射線・化学療法の組み合わせによる集学的治療」、脳卒中の「急性期」の医療機能を担っているが、急性心筋梗塞の内科的治療を実施し、「PCI」は行っていない状況にある。

県立山田病院では、がんの「在宅療養支援」、脳卒中の「予防」、急性心筋梗塞の「予防」及び「維持期」、糖尿病の「初期・安定期治療」の4疾病の日常的な医療機能のほかに、糖尿病の専門的治療などの医療機能も担ってきた。

また、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病の日常的な医療機能については、済生会岩泉病院や民間病院の宮古第一病院においても担ってきた。

イ 被災後

【病院・診療所】

宮古圏域内の病院・診療所（45 施設）のうち 19 施設が被災し、そのうち元の施設で診療を再開している施設は 13 施設、仮設施設で再開しているのは 4 施設となっている。

未再開となっている 2 施設は廃業となっており、現時点では、約 96%の施設の再開が見込まれている。

また、圏域内の病床数 1,449 床のうち 108 床が使用できない状況になっており、被災前の約 93%の病床数となっている。

【歯科診療所】

宮古圏域内の歯科診療所（36 施設）のうち 19 施設が被災し、そのうち元の施設で再開している施設は 11 施設、仮設施設で再開しているのは 3 施設となっている。未再開となっている 5 施設のうち、再開が見込まれるのは 3 施設で、その他は廃業が 1 施設、未定が 1 施設となっており、現時点では、約 94%の施設再開が見込まれている。

【調剤薬局】

宮古圏域内の調剤薬局（32 施設）のうち 17 施設が被災し、そのうち元の施設で再開している施設は 7 施設、仮設施設で再開しているのは 3 施設となっている。未再開となっている 7 施設の今後は未定となっており、現時点では、約 78%の施設再開が見込まれている。

図表5 病院等の主な医療機能(被災前)

施設名称 ※●は公立病院	がん					脳卒中				急性心筋梗塞				糖尿病						
	予防	がん治療			在宅	予防	急性期	回復期	維持期	予防	急性期		回復期	維持期	初期・安定期治療	専門治療	急性合併症治療	慢性合併症		
		A	B	C							PCI	内科的治療						糖尿病網膜症	糖尿病腎症	糖尿病神経障害
●岩手県立宮古病院	○	○				○	○			○		○			○		○		○	
●岩手県立山田病院				○	○	○				○			○	○	○	○				
医療法人財団正清会 三陸病院																				
済生会岩泉病院	○			○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社団医療法人新和会 宮古山口病院																				
特定医療法人弘慈会 宮古第一病院					○	○		○												
(診療所数)	5			6	4	11			5	11			1	12	14			1	2	

【出典】H20 医療機能調査(岩手県保健福祉部)

※がん治療A：①手術療法②放射線療法③化学療法を全て実施し、これらの効果的組み合わせによる集学的治療を行っている。

B：①手術療法及び②化学療法を実施

C：①手術療法又は③化学療法を実施

図表6 医療提供施設の状況(平成23年9月1日現在)

	医療提供施設	既存施設	被災施設	再開状況		未再開施設の今後の予定			病床数(被災前)						稼働病床数(被災後)	病床減数
				自施設	仮設	再開	移転(圏域外)	廃業	未定	一般	療養	結核	感染	精神		
宮古市	県立病院	1	1	1					373		10	4		387	387	
	民間病院	3	1	1						148			640	788	788	
	県立診療所	1														
	市立診療所	3	1		1				32					32	13	△ 19
	民間診療所	24	11	10				1	55					55	43	△ 12
	歯科診療所	24	13	10	1	1		1								
	調剤薬局	21	9	7												
山田町	県立病院	1	1		1				60					60		△ 60
	民間診療所	4	3		2			1	11	6				17		△ 17
	歯科診療所	5	5	1	2	1		1								
	調剤薬局	10	8		3											
岩泉町	民間病院	1							98					98	98	
	民間診療所	6	1	1					12					12	12	
	歯科診療所	5														
田野畑村	村立診療所	1														
	歯科診療所	2	1			1										
	調剤薬局	1														
圏域全体	病院・診療所	45	19	13	4			2	641	154	10	4	640	1449	1341	△ 108
	歯科診療所	36	19	11	3	3		1	1							
	調剤薬局	32	17	7	3				7							

【出典】岩手県保健福祉部医療推進課、健康国保課調べ
 ※ 病床数(被災前)は平成22年4月1日現在の数

(4) 患者受療行動の状況

ア 被災前(平成17年患者受療行動調査の概要)

入院患者の受療動向では、宮古圏域の自己完結割合は73.3%であり、特に、盛岡圏域への患者流出が最も多くなっているほか、中核病院である県立宮古病院が所在する宮古市への患者移動も多くなっている。

山田町における入院患者の自己完結割合は26.1%で、町外への患者の流出割合は73.9%となっている。

図表7 平成17年患者受療行動調査結果

	一般病床数 A	患者数 (圏域・市町村) B	圏域(市町村)内利用の状況							
			医療圏内利用者数 C	(割合) (C/F)	うち市町村内利用者 D	(割合) (D/F)	他圏域からの利用 E	(割合) (E/F)	入院患者計 F=C+E	病床利用率 (F/A)
宮古	662	685	502	97.1	—	—	15	2.9	517	78.1
宮古市	502	399	395	96.3	301	73.4	15	3.7	410	81.7
山田町	60	138	36	100.0	36	100.0	0	0.0	36	60.0
岩泉町	100	137	71	100.0	66	93.0	0	0.0	71	71.0
田野畑村		21								
(旧川井村)		25								

	流出の状況							
	圏域・市町村 外病院利用 G=B-(CorD)	流出 割合 G/B	第1位		第2位		第3位	
宮古	183	26.7	盛岡	154	釜石	36	久慈	16
宮古市	98	24.6	盛岡市	63	釜石市	14	雫石町	13
山田町	102	73.9	宮古市	56	盛岡市	29	釜石市	13
岩泉町	71	51.8	盛岡市	28	宮古市	24	久慈市	10
田野畑村	21	100.0	宮古市	8	岩泉町	5	久慈市	5
(旧川井村)	25	100.0	盛岡市	14	宮古市	6	遠野市	2

【出典】岩手県保健福祉部保健福祉企画室調べ

※1 病床数は、休止病床を除く(休止病床:山田病院 53床、H16～(H18 廃止))

※2 患者数は、県内の病院に入院した患者の数であり、県外病院への入院は含んでいない。

※3 市町村内(受療調査単位)に一般病床を有する病院が公立病院のものについて、抜き出し集計したもの。

※4 市町村区分については、H17.10.1現在の合併市町村。それ以降に合併した市町村についてはカッコ書き()で表示

イ 被災後(入院・外来の状況)

平成23年8月の宮古圏域内の県立病院への入院患者数は、前年同月よりも1,425人、率にして16.2%の減少となっている。また、県立病院への外来患者数は、前年同月よりも1,138人、率にして11.0%の増加となっている。

【図表8】入院・外来状況調査結果

医療圏	病院等	区分	入院							
			H22.8	(参考) H23.1	H23.7	H23.8	対前年同月比		対前月比	
			A	H23.1	B	C	差引 C-A	率 C/A*100-100	差引 C-B	率 C/B*100-100
宮古	宮古	患者数	7,377	7,239	7,391	7,360	△17	△0.2	△31	△0.4
		1日平均	238	234	238	237	△1	△0.2	△1	△0.4
	山田	患者数	1,408	1,378	0	0	△1,408	△100.0	0	-
		1日平均	45	44	0	0	△45	△100.0	0	-
	計	患者数	8,785	8,617	7,391	7,360	△1,425	△16.2	△31	△0.4
		1日平均	283	278	238	237	△46	△16.2	△1	△0.4

医療圏	病院等	区分	外来							
			H22.8	(参考) H23.1	H23.7	H23.8	対前年同月比		対前月比	
			D	H23.1	E	F	差引 F-D	率 F/D*100-100	差引 F-E	率 F/E*100-100
宮古	宮古	患者数	8,288	7,587	8,551	9,791	1,503	18.1	1,240	14.5
		1日平均	377	399	428	426	49	13.0	△2	△0.5
	山田	患者数	2,037	1,791	1,315	1,672	△365	△17.9	357	27.1
		1日平均	93	94	66	73	△20	△21.5	7	10.6
	計	患者数	10,325	9,378	9,866	11,463	1,138	11.0	1,597	16.2
		1日平均	470	494	494	499	29	6.2	5	1.0

【出典】岩手県医療局調べ

※「事業実績表(電算速報)」(平成23年8月分は速々報)による。

(5) 高齢者福祉施設の状況

ア 被災前(介護老人福祉施設の入所待機者数)

平成22年度当初の宮古圏域内の特別養護老人ホームの定員数は530人で、平成19年度から増員されていなかったが、同時に(平成21年度末時点)入所待機者数が420人、そのうち早期入所が必要な方が121人おり、その解消に向けて施設整備が予定されている。

また、平成21年度の介護サービスの県平均給付額を100%としてみた場合に、圏域全体で、訪問看護や訪問リハビリテーションなどの訪問(医療系)サービスの給付は82.1%、通所介護や通所リハビリテーションなどの通所系サービスの給付は89.3%となっている。

図表9 介護老人福祉施設における定員数の推移

【宮古圏域】	定員数の推移(4/1)					H23		待機者数(H22.3)		
	H19	H20	H21	H22	H23	整備 予定 数	年度末	420	うち在宅待 機者数	うち早期入 所必要な方
特別養護老人ホーム(地域密着型含む)	530	530	530	530	559	69	628			186
老人保健施設	379	379	379	379	379		379			
認知症対応型グループホーム	81	99	99	117	150		150			
計	990	1,008	1,008	1,026	1,088	69	1,157			

【出典】岩手県保健福祉部長寿社会課調べ

※1 定員数は、各年の4月1日現在の数

※2 地域密着型介護老人福祉施設は、小規模多機能(定員数は利用登録定員数)及び認知症対応型GH

※3 待機者数(H23.3)には、震災による要介護・要支援認定者数の減少は考慮していない

図表10 平成21年度居宅系介護サービスの給付状況(県平均額との比較)

	訪問 (福祉系)	訪問 (医療系)	通所系	短期入所
宮古市	130.5%	95.4%	104.5%	106.7%
山田町	205.0%	100.3%	55.3%	59.7%
岩泉町	58.9%	9.8%	80.9%	74.9%
田野畑村	35.0%	46.7%	62.0%	141.4%
圏域全体	131.3%	82.1%	89.3%	94.1%

【出典】岩手県保健福祉部長寿社会課調べ

※ 表中の割合は、県平均額を100%とした場合のサービスの給付割合を示すもの

イ 被災後(高齢者福祉施設の被害状況)

【入所・居住系施設】

宮古圏域内の入所・居住系施設(39施設)のうち10施設が被災し、そのうち元の施設で事業を再開している施設は6施設、仮設施設で再開しているのは2施設となっている。未再開となっている2施設の今後は未定となっており、現時点では、約95%の施設の再開が見込まれ、この場合の定員減数は107人となっている。

【居宅系サービス事業所】

宮古圏域内の居宅系サービス事業所(132施設)のうち28施設が被災し、そのうち元の施設で事業を再開している施設は25施設となっている。未再開となっている3施設のうち、廃業が1施設、未定が2施設となっており、現時点では、約98%の事業所の再開が見込まれている。

図表11 高齢者福祉施設の被害状況

	施設種別	既存施設数	被災施設数	再開状況		未再開施設の今後の予定			定員数		定員減数
				自施設	仮設	再開	移転(圏域外)	廃業	未定	被災前	
宮古市	介護老人福祉施設(特養)	5							310	310	
	介護老人保健施設(老健)	2	2	2					196	196	
	地域密着型介護老人福祉施設	14	3	2				1	190	181	△ 9
	その他入所・居住系施設	3	2	2					89	89	
	居宅系サービス事業所	85	15	15							
山田町	介護老人福祉施設(特養)	1							100	100	
	介護老人保健施設(老健)	1	1					1	98		△ 98
	地域密着型介護老人福祉施設	4	2		2				52	52	
	その他入所・居住系施設										
	居宅系サービス事業所	23	13	10				1	2		
岩泉町	介護老人福祉施設(特養)	1							70	70	
	介護老人保健施設(老健)	1							85	85	
	地域密着型介護老人福祉施設	3							43	43	
	その他入所・居住系施設										
	居宅系サービス事業所	17									
田野畑村	介護老人福祉施設(特養)	2							79	79	
	介護老人保健施設(老健)										
	地域密着型介護老人福祉施設	2							25	25	
	その他入所・居住系施設										
	居宅系サービス事業所	7									
圏域全体	介護老人福祉施設(特養)	9							559	559	
	介護老人保健施設(老健)	4	3	2				1	379	281	△ 98
	地域密着型介護老人福祉施設	23	5	2	2			1	310	301	△ 9
	その他入所・居住系施設	3	2	2					89	89	
	居宅系サービス事業所	132	28	25				1	2		

【出典】岩手県保健福祉部長寿社会課調べ

※1 介護老人福祉施設(特養)には地域密着型特養を含む

※2 地域密着型介護老人福祉施設は、小規模多機能(定員数は利用登録定員数)及び認知症対応型GH

(6) 医療と介護の連携状況

ア 被災前

宮古圏域では、平成21年3月に策定した『宮古保健医療圏医療連携推進プラン』に基づいて、医療と介護(福祉)の連携に向けて、患者の診療計画の協議を行う地域ケアネットワーク会議(退院時ケアカンファレンス)の設置や、在宅医療や在宅介護を支援するための連携体制の構築、切れ目のない一貫した療養サービスを提供するための地域連携クリティカルパスの導入を目指してきた。

イ 被災後

県立山田病院の全壊など、山田町の核となる医療機関や介護老人保健施設が被災し、殆どの機能が回復しておらず、医療と福祉の連携に向けた検討を進める前提条件が整っていない。

2 医療・福祉に関する課題等

(1) 医療

- ア 中核病院である県立宮古病院における4疾病の高度・専門医療機能が回復し、県立山田病院の病床が失われたままの状態にあるが、県立宮古病院の入院患者数は前年度とほぼ同水準となっていることから、山田町内の患者の町外医療機関への移動状況を詳細に把握し、県立宮古病院との機能調整も含めて病床整備について検討する必要がある。
- イ 県立山田病院仮設診療所の外来患者数が減少している一方で、県立宮古病院の外来患者数に増加がみられることから、山田町内の患者の受療動向を詳細に把握し、山田町内の在宅医療連携のあり方も含めたプライマリケア体制の早期回復について検討する必要がある。
- ウ 圏域全体で、今後の予定が未定の民間の医療提供施設が8施設となっていることから、医療提供施設の廃業を防ぎ「かかりつけ医・歯科医・薬局」体制を再建するためには、市町村の土地利用計画が決定するまでの間における支援ニーズ等を把握し、仮施設段階から本格再開に向けた更なる支援策を打ち出す必要がある。

(2) 福祉

- ア 超過定員で被災者を受け入れている施設があるほか、震災により高齢者福祉施設（入所施設）の定員が107人減となることから、定員超過及び入所待機者解消に向け、地域の実情※に基づいた施設整備を推進していく必要がある。
 - ※ 定員減の大きな要因は、津波により山田町の大規模入所施設が全壊したことによるもので、山田町を除く他市町村の入所施設定員数にはほとんど変化はない状況にある。
- イ 在宅での介護が可能となるよう小規模多機能サービス拠点の整備促進などによるサービスの充実や、居宅介護支援事業所等によるサービス調整体制を強化する必要がある。

(3) 医療と介護の連携

地域ケアネットワーク会議の効果的な開催やクリティカルパス等の連携ツールの効果的な活用方法を検討するなど、医療・福祉・行政関係者による医療と福祉の連携を強化する必要がある。

参考 被災市町村における復興計画策定状況（平成23年9月1日現在）

1 宮古市

復興計画の構想・基本方針等策定状況

- ・宮古市震災復興基本方針（6/1）
- ・宮古市復興基本計画（10月予定）

■宮古市復興基本方針（平成23年6月1日策定）

6 当面、緊急的に取り組む内容

(6) 保健・医療・福祉の確保

被災した市民の心身の健康を保つため、県立病院や民間医療機関等との連携のもと、ハード・ソフト両面からの医療の提供体制を確保するとともに、保健指導などに努めます。

また、被災した子どもや高齢者、障がい者の方々が安心した生活を送るための支援について、関係機関・団体と連携を図りながら進めます。

2 山田町

復興計画の構想・基本方針等策定状況

- ・復興計画策定に向けた基本方針（5/23）
- ・山田町東日本大震災津波復興ビジョン（6月）
- ・山田町東日本大震災津波復興計画（素案）（9月予定）
- ・山田町東日本大震災津波復興計画（12月予定）

■山田町東日本大震災津波復興ビジョン（平成23年6月策定）

4 復興の方向性

4-1. 津波から命を守るまちづくり

(4) 公共施設の安全性の強化

今回被災した公共施設については、将来人口及びその配置等を踏まえて再建設を進めるとともに、移転が可能な施設については安全な高台への移転を進めます。特に、医療・介護施設、福祉施設、教育施設には、津波からの避難が困難な人たちが多くおり、また、災害時には避難場所等としても活用されることから、安全な場所への配置とあわせて、耐震・耐火性の強化、及び備蓄の充実を進めます。

3 岩泉町

復興計画の構想・基本方針等策定状況

- ・岩泉町震災復興計画（骨子）（5/20）
- ・岩泉町震災復興計画（9月予定）
- ・岩泉町震災復興実施計画（11月予定）

■岩泉町震災復興計画（案）（平成23年5月20日策定）

1 生活の再建

(3) 保健・医療・福祉の充実

復興に向けての対策

- 被災者の心の健康を保持するため、高齢者や障害者、避難生活者に配慮しながら、保健師の定期巡回等により心のケア対策を推進するとともに、生きがいづくりを支援していきます。また、高血圧、心疾患などの生活習慣病予防、早期発見・早期治療、リハビリまで保健・医療の連携体制を構築しながら、健康管理に努めます。

4 田野畑村

復興計画の構想・基本方針等策定状況

- ・ 田野畑村復興基本計画（9月予定）

■ 田野畑村復興基本計画（案）（平成23年7月21日策定）

基本方針

生活再建

保健医療・福祉・教育の充実

- 被災者の心身の健康を守るため、きめ細やかな保健医療活動や心のケアに取り組みます。また、将来を担う子どもたちの心のケアについては、学校や家庭、地域等と連携して取り組み、子どもたちの不安解消や情緒の安定化を図ります。